

今号の主な記事

- ◇健やか赤ちゃん訪問事業
8月から実施地区が広がる……2面
- ◇野外アートフェスティバル作品募集……4面
- ◇平成19年度消費生活相談の概要……5面
- ◇保健だより……8面

いきいきと舞台を舞う人形

心豊かな文化のまちに

夢と希望いっぱいの人形劇



子どもたちの心は、ワクワク、ドキドキ。自分で作ったカエルの人形を使って人形劇を体験しました。(西宮市大学交流センターで開催された人形劇講座に参加した子どもたち)

誕生

「戎座人形芝居館」

毎月第3土曜の午後2時から人形劇を上演



人形劇団「えびす座」が命を吹き込んだように人形を動かすと、子どもたちは胸を躍らせて見つめていました。

西宮中央商店街振興組合が商店街の活性化を図ろうと空き店舗を和風に改修。「戎座人形芝居館」が西宮中央商店街に誕生しました。

1階は、どんちよう付の舞台と人形劇を楽しむことができる観覧スペースが設けられています。記念式典では同館前をステージにして、文楽人形使いで人間国宝の吉田文雀さんと関係者ら約100人が完成を祝いテープカットをしました。

引き続き人形劇が同館内で上演されると、たくさんのお客さんが詰めかけ、笑顔いっぱいの表情で見入っていました。

毎月第3土曜の午後2時から人形劇を上演するほか、紙芝居づくり、腹話術講習なども行われます。入場無料。定員各40人。当日先着順。問合せは戎座人形芝居館(0798・55・8099)へ。

推計人口 47万8526人
(女25万1684人、男22万6842人)
世帯数 20万2543 面積 100.18km²
平成20年(2008年)7月1日現在

人形劇発祥の地 「西宮」

西宮神社周辺には、室町時代から人形芝居をしながら全国各地を巡り、戎(えびす)信仰を広めた「傀儡師(くぐつし)か

いらいし)が多く住んでいたといわれています。「傀儡師」は「西宮の戎かき」や「戎舞わし」ともいわれ、人形芝居は淡路の人形浄瑠璃(じょうるり)や大阪の文楽に発展したとされます。また、産所町に「傀儡師」故

市は、文化を通じた交流が盛んなまち、そして一人ひとりがいきいきと暮らせるまちづくりを進めています。

このたび、西宮市大学交流センターで人形劇の定期公演と講座が始まりました。また、西宮中央商店街(馬場町)では、人形芝居の常設小屋「戎座人形芝居館」がオープンし、人形劇を楽しめる場が市内に2カ所、誕生しました。

子どもたちに夢や希望を与え、豊かな心をはぐくむ人形劇。皆さんも子どもたちと一緒に、童心に返ってワクワクしながら人形劇との触れ合いを楽しんでみませんか。

西宮市大学交流センターで、人形劇団「西宮くぐつ座」をはじめ、大学や人形劇サークルなどの協力を得て、奇数月の第2土曜の午後2時から人形劇の公演などを行います。↓下表参照。入場無料。定員各140人。当日先着順。

人形劇を奇数月の第2土曜に開催



市内では、現在も多数の人形劇グループが活動を行っています。そこで市は人形劇グループを応援し、人形劇のまちとして盛り上げていこうと、人形劇などを定期的に始めることにしました。

西宮市大学交流センターで、人形劇団「西宮くぐつ座」をはじめ、大学や人形劇サークルなどの協力を得て、奇数月の第2土曜の午後2時から人形劇の公演などを行います。↓下表参照。入場無料。定員各140人。当日先着順。

人形劇の公演日程

日程	内容:出演グループなど
9月13日	紙芝居:たかす文庫 人形劇:神戸女学院大学「にんじん」 ワークショップ
11月8日	紙芝居:瓦林図書ボランティア 人形劇:グループ玉手箱 ワークショップ
1月10日	人形劇:西宮くぐつ座子ども劇団 人形劇:うれしたのし ワークショップ
3月14日	紙芝居:ライラックおはなし文庫 人形劇:聖和大学「人形劇部わらべ」 ワークショップ

人形劇の公演と講座についての問合せは西宮くぐつ座(0798・64・3099)・北井方へ。

また、これまでに培われてきた文化や伝統を継承・発展させるために、人形劇の新たな担い手を養成する講座も開催します(今年度の申込は締め切り)。

市は、子どもの笑顔が輝くまち、にぎわいと活気にあふれたまちづくりを推進していきます。いきいきと操られ舞台を舞う人形劇をぜひご覧ください。問合せは文化まちづくり部(0798・35・3461)へ。